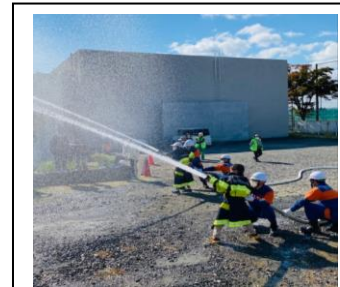


めざす子ども像 **確かなつながりの中で自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標 「地域を守る人づくり」を目指し、学校・保護者・地域各種団体の連携をより一層促す

【今年度の取組紹介】

「地域を守る人づくり」を目標に掲げながら、コロナ禍の状況下防災フェス（防災訓練・教育）を十分に行えず、数年ぶりの開催となりました。新しい学校施設を利用し、様々な避難訓練・防災体験の場面を設定し、地域住民と子どもたちが共に体験できました。10月30日『奈良市総合防災訓練』『右京・神功地区合同自主防災訓練』と共同運営で①「避難者受付」「救護所」②「防災食展示」「防災教育パネル展示」③「消火訓練」④「避難ルーム（簡易）」⑤「防災グッズ手作り体験」⑥「炊出し訓練」⑦「マンホールトイレ（展示）」⑧「車いす体験」⑨「アルファ化米おにぎりづくり」⑩「テント・車中泊区画整備」など各種の役割を避難者に作業分担しました。『避難者はお客様ではありません!』を大切に、子どもたちも「防災グッズ手作り体験」「アルファ化米おにぎりづくり」「消火訓練」などに積極的に取り組んでいました。晴天に恵まれ、家族で地域をつなぐ防災体験を楽しむ日となりました。



平城分団指導による放水体験



豚汁炊き出し大人気

【今年度のまとめ】

- ①計画していた事業はほぼ実施でき、特に新しい図書室のためにボランティアがミーティングを重ね、支援システムの構築を進めました。また新たな通学路の見守り活動の連絡体制のために細やかな打合せの会合を持ちました。
- ②小学校の授業支援に多くのボランティアの協力を得ることができました。
- ③地域と連携した防災教育（防災フェス）の取組イベントの復活開催、『草刈り作業』『落ち葉清掃』の児童、生徒の多くの参加はボランティア意識の活性化を感じました。
- ④地域ボランティアの登録参加は維持され、地道な活動が必要に応じ継続されました。

【来年度に向けて】

- ① 地域の様々な世代に適応した広報活動を細やかに行い、ボランティアの募集に繋げるために協議会のホームページを活用、広報紙も適時発行します。
- ② コーディネーター間の連絡・会話を密に、ボランティアの中でも役割や作業分担を明確にし、活動能力を上げていきたいと思えます。子どもたち、教職員、保護者の声を事業に反映し、実行していきたいと考えています。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける**心豊かなたくましい子**

取組目標

地域とともに心を耕し、夢を育む「ならやまっ子」

【今年度の取組紹介】

○落ち葉清掃

令和4年12月17日(土)にならやま中学校区で落ち葉清掃をしました。前身の平城西中学校区としても、毎年12月に落ち葉清掃に取り組んでいました。しかし、コロナウイルスの影響でなかなか大勢で取り組む活動ができずにいましたが、今年度は小中一体型のならやま小中学校になってコロナ禍前よりもさらに参加者の範囲を広げ、実施することができました。これまでは地域コーディネーターと中学校生徒会が中心となり、神功小学校と平城西中学校、神功こども園に呼びかけて実施してきました。今年度はそこに、右京地区の児童と保護者、さらに社会体育チームが参加し、幅広い年齢層の参加者が寒さに負けず地域の美化活動に参加しました。

ひたすら溝さらいに励む生徒、満杯になったゴミ袋を回収して回る生徒など、地域貢献する中学生のたくましい姿がありました。生徒たちは自分たちの担当場所をきれいにするはもちろん、ほかの参加者とも声を掛け合って協働する姿がありました。地域の皆さんと交流しながらの作業で「ありがとう」と言ってもらえることで、この取組が生徒一人ひとりにとって地域の一員としての自覚をもつ機会となりました。



【今年度のまとめ】

○今年度はより多くの方に参加いただける活動ができて、学校や地域がにぎやかになりました。

○年間を通してさまざまな分野で活動いただいたボランティアさんの紹介ができて、子どもたちと地域の皆さんの距離をより近づけることができました。

【来年度に向けて】

心の通い合いを大切にし、持続可能な取組の計画と実施をさまざまな人たちに参画いただきながら考えていきたいです。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける 心豊かなたくましい子

取組目標

地域とともに心を耕し、夢を育む「ならやまっ子」

【今年度の取組紹介】

○防災体験学習

北消防署の協力を得ながら、各学年の発達段階に応じた系統的な学習を進めています。また、教職員についても校内研修として救急救命法研修を実施し防災意識を高めています。

毎年行うことによって、児童の防災や地域の一員であることの意識が高まり、地域で行われる防災訓練への参加にもつながっています。



○授業支援活動

新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を講じながら、本年度はプール学習や家庭科実習を再開しました。児童の安全補助として多くのボランティアの方に協力いただきました。

また、世界遺産学習や福祉体験、能楽体験等でのゲストティーチャー等、専門性を生かした実技披露や児童への指導助言等をいただき、児童が本物にふれるよい機会となりました。



【今年度のまとめ】

- 新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、感染対策を講じつつ、できる事業から実施したところ多くの地域ボランティアの方や保護者の協力を得ることができました。
- 消防署の協力も得て、各学年で系統的に取り組んでいる防災学習や地域の防災訓練への児童の積極的な参加等を通じて、防災や地域の一員であることの意識をより一層高めることができました。
- 見守りボランティアや図書ボランティア等の地域の方々の学校支援活動が、学校力を高める大きな一助となっています。

【来年度に向けて】

- 地域・家庭・学校のつながりを深める取組を進め、子どもたちには自分の住んでいる町の魅力についてより知ってもらいたいと考えています。

めざす子ども像 **確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かな子****取組目標** **地域の人、環境に親しみを持てるような事業内容の充実**

【今年度の取組紹介】

おはなしの会

新型コロナウイルス感染症と共存し、新しい生活様式が定着しつつある中、今年は3年ぶりにおはなしくれよんと、右京おはなしの会の方によるお話の会を実施しました。

人形劇を見た子どもたちは、人形が動く様子に惹かれ、その表現方法に興味を持ちました。そして、普段の遊びの中でも、友達とペープサートを作ったり、大好きな絵本で表現あそびを楽しんだりする姿が見られるようになりました。

また、お話の会を通して地域の方に親近感を感じることができたようで、地域の方からは「園外で会う機会があると、挨拶してくれる子が増えた」「また来てねと声をかけられた」などの声をいただき、地域の方とのつながりの中で育っていることをうかがうことができました。

おはなしの会以外にも子ども達は菜園活動や花壇整備などで、地域の方が来てくださる機会をとでも楽しみにしています。地域の方とのかかわりの中でいろいろな刺激を受け、多様な経験ができるように、これからも地域の方とつながる活動を行っていききたいと思います。



【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが従来の生活様式に戻せる部分もあり、久々におはなしの会を実施し、地域の方との活動を前進させることが出来ました。また環境整備事業と一緒に活動し地域の方に声をかけてもらうことで親しみを持ったり、子どもの活動の様子を認めてもらうことでより意欲的に活動したりするようになりました。子どもたちは地域とのつながりの中で心豊かに育ってきています。

【来年度に向けて】

地域の方とかかわりを持てるような取組の見直しを行いながら、園の現状に応じた保育内容を実施できるようにしていきたいと思えます。また、多方面の教育支援をボランティアの方に協力して頂けるように、活動内容などをホームページ等で知らせ、より多くの方への理解につなげたいと思えます。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標

地域の方との関りを通して、自然の面白さや美しさを感じたり、身近な人に親しみ「やりたい！やってみよう！」と思う意欲を育てていく

【今年度の取組紹介】

☆おはなしの会

今年度も“右京おはなしの会”を開催しました。この2年間は開催時期を見合わせることもあり予定数の8回をすべて開催できていませんでしたが、今年度は無事に8回すべて開催することができました。開催するにあたっては前年度と同様、開催時間を短くして消毒を行いながら歳児級ごとに会を進めました。おはなしの会では、あたたかい空気間の中、子どもたちの歳児級に合わせた内容で行っていただきました。また、季節に合わせた内容のお話や歌もあり子どもたちは、おはなしの会の世界に引き込まれていました。



☆運動あそび

社会環境や生活様式の変化から現代の幼児は身体を動かして遊ぶ機会が減少しているということを踏まえ、今年度は、体操講師による運動あそびを10回開催しました。サーキット遊びやドッチボールなど楽しく体を動かす遊びを通して基礎的な体力や身体能力を発達させ、様々な活動への意欲につなげる機会となりました。



☆野菜の苗植え・収穫

地域ボランティアの方に来ていただき、3、4、5歳児の園児とサツマイモの収穫を行いました。掘り方を教えてもらいながら、収穫した芋を使い、園庭で地域の方とサツマイモパーティーを行いました。玉葱の苗植えも行いました。

☆プール清掃

子どもたちの午睡中に職員と地域の方と共にプール掃除を行いました。5月に行った玉ねぎの収穫の際、地域の方から『今年プールするの？プール掃除するなら来るよ』というお声をいただき始まったプール掃除。職員と和気あいあいと話しに花を咲かせながらプール掃除を行い関係を深めることができました。



【今年度のまとめ】

今年度は、地域事業に携わってくださっている方々に許可をいただき、園に入っすぐの掲示板に地域事業の紹介や、地域の見守り活動のチラシなど掲示すると共に、活動に携わっていただいている方々の顔を覚えていただけたらという思いから顔写真の掲示を行いました。また、毎月どんな活動をしているかも掲示することで、地域の方々との関わりを子ども伝いや連絡機能アプリケーションだけではなく、掲示することで見ていただけるように工夫しました。今後も継続していきたいと思ひます。また、今年度もコロナ禍の中でしたが対策や、環境、時間を工夫しながら昨年度に比べ、充実した活動ができたように感じています。

【来年度に向けて】

来年度も、今年度行った活動を継続していきながら、コロナが5類になるということも踏まえ、出来る活動範囲が広がっていくと共に子どもたちにとって地域との交流をより一層深めて行きたいと思ひています。また、地域の方と、右京こだまの会（保護者会）の方々と話し合いながら、園を見ていただける機会を増やし、園を開いていきたいと思ひています。